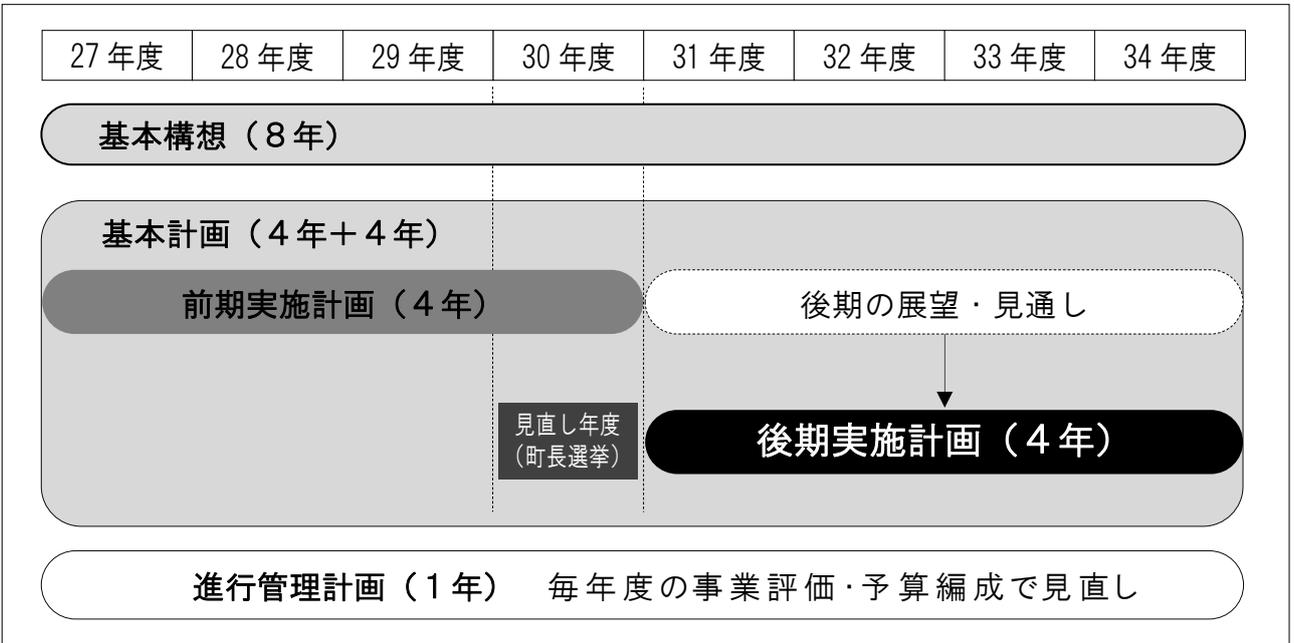
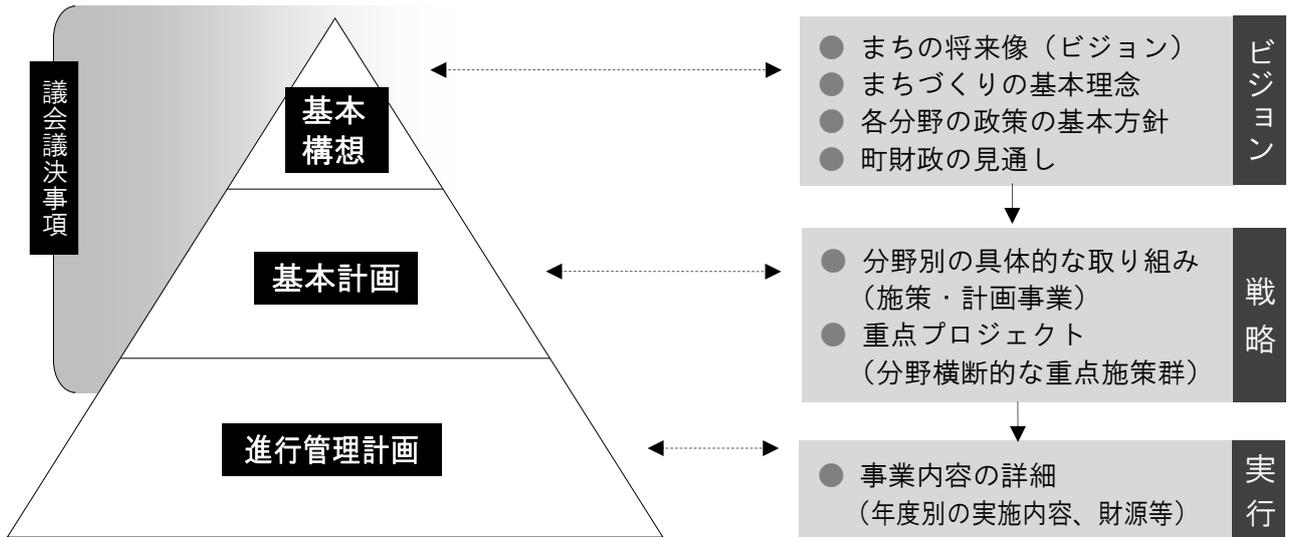


栗山町第6次総合計画
後期実施計画原案
【ダイジェスト版】

1. 第6次総合計画とは

平成27年度から平成34年度まで、8年間の町政の進むべき方向性を明らかにし、その具現化に向けた政策、施策、事業の総合的かつ計画的な推進を目的に策定したものです。

2. 計画の構成と期間



※基本計画～前期4年目において、事業実績・検証結果や町長公約などを踏まえ、後期実施計画を策定します。

3. まちづくりの基本目標

【1】まちづくりの基本理念

① 情報共有のまちづくり

まちの将来像や政策などの目標・成果を町民と共有できるよう、適切な町政情報の公開・提供を前提としたまちづくりを推進。

② 町民参加のまちづくり

町民一人ひとりが主体的に参加・参画するまちづくりを推進。また、町民が政策などの形成過程に参加できる機会を充実。

③ 連携・協働のまちづくり

重点政策方針に基づく分野横断的な政策展開など、町民相互、町民と行政が連携・協働するまちづくりを推進。

④ 持続可能な自律したまちづくり

地方分権時代に対応した自律したまちづくりを推進するとともに、町財政の健全運営と個性的で効果的な政策展開を両立した、持続可能なまちづくりを推進。

【2】まちづくりの合言葉・まちの将来像

ふるさととは栗山です。（まちづくりの合言葉）

～誰もが笑顔で、安心して暮らすまち～（まちの将来像）

計画期間における、町民全体のまちづくりの合言葉を「ふるさととは栗山です。」としています。積み重ねられた町の歴史と先人の夢をつなぎ、次世代に誇れるふるさと栗山を築いていくため、町民一人ひとりが主役となり、和衷協力の精神で地域に根差したまちづくりを進めていくものです。

また、目指すべき理想のふるさと栗山の姿を現す「まちの将来像」については「誰もが笑顔で、安心して暮らすまち」とし、暮らしの本質的な豊かさに恵まれた、いつまでも住み続けたいと思えるまちを目指すものです。

「笑顔」・次代を担う子どもたちが夢・希望を描くことができるまち
・町民一人ひとりが生きがいを持てる、文化豊かな賑わいのあるまち

「安心」・町民誰もが安心して暮らすことができるまち
・町民の心がふれあい、共に支え合う住みよいまち

4. 重点プロジェクト

【1】子どもたちの笑顔が輝くまち（若者定住対策）

「子育てするなら栗山で」と、若者世代から選択されるまちづくり

重点施策① 若者世代が移住・定住しやすい環境づくりを推進

重点施策② 安心して子育てができる環境づくりを推進

重点施策③ 特色ある豊かな教育環境づくりを推進

➡後期に向けては、住環境整備の促進や起業環境の整備、起業支援策、介護福祉学校・栗山高等学校の魅力づくり(学生確保対策など)などさらに推進

【2】生涯を自分らしく暮らすまち（健康寿命延伸）

町民の健康意識を高め、元気高齢者が活躍するまちづくり

重点施策① 町民全体の健康意識を醸成

重点施策② 生活習慣改善と疾病予防を推進

重点施策③ 高齢者による社会参加の環境づくりを推進

➡後期に向けては、町民全体の生活習慣の改善、健康管理への意識向上、高齢者の活動機会の創出、高齢者の生活を地域で支える仕組みの構築などさらに推進

【3】人と自然が共生するまち（自然環境保全・再生）

豊かな自然・里山環境を守り、次世代につなぐまちづくり

重点施策① 自然教育中長期ビジョンを策定し推進体制を整備

重点施策② 町民参加による自然環境保全・再生運動を推進

重点施策③ 自然体験教育の充実

➡後期に向けては、自然・里山環境の保全・再生の担い手の確保・育成、町民参加による自然環境保全・再生運動の再構築などさらに推進

【4】地域の潜在力を活かすまち（産業活性化対策）

農業基盤を活かした交流人口拡大と、雇用・産業創出のまちづくり

重点施策① 農業基盤を活かした6次産業化を推進

重点施策② 地域資源を活かした観光・交流産業づくりを推進

重点施策③ 各産業の担い手育成を推進

➡後期に向けては、農業基盤を活かした産業活性化、各産業の担い手・後継者育成、起業環境の整備、町内事業者の雇用確保などさらに推進

5. 計画期間中の目標人口

平成34年（10月時点）＝ 12,000人

重点プロジェクトとして取り組む「若者世代が移住・定住しやすい環境づくり」などの成果として、若者世代の人口の変化率が、計画期間中の8年間で「減少が抑制される」との見込みで目標人口を設定。

(単位:人)

		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
当初推計	人口	12,404	12,228	12,051	11,875	11,698	11,522	11,338	11,154
	高齢化率	37.7%	38.3%	39.0%	39.7%	40.4%	41.2%	41.5%	41.8%
目標	人口	12,453	12,388	12,323	12,257	12,192	12,127	12,052	12,000
	高齢化率	37.5%	38.0%	38.4%	38.9%	39.3%	39.8%	39.8%	39.8%
実績	人口	12,502	12,351	12,098	11,882				
	高齢化率	36.4%	37.4%	38.3%	39.1%				

※年齢階層別

		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
幼年人口 (0~14)	当初推計	1,233	1,190	1,147	1,104	1,061	1,018	991	963
	目標	1,236	1,217	1,197	1,178	1,158	1,139	1,141	1,143
	実績	1,294	1,242	1,206	1,176				
生産人口 (15~64)	当初推計	6,498	6,350	6,203	6,055	5,908	5,760	5,648	5,533
	目標	6,544	6,469	6,393	6,317	6,242	6,166	6,116	6,065
	実績	6,653	6,489	6,264	6,070				
老年人口 (65~)	当初推計	4,673	4,687	4,701	4,716	4,730	4,744	4,701	4,658
	目標	4,672	4,702	4,732	4,762	4,792	4,823	4,796	4,769
	実績	4,555	4,620	4,628	4,636				

6. 後期実施計画原案（分野別施策・計画事業）の概要

I. 生活環境 / 安心して暮らせるふるさとづくり

【1】ごみ処理

○再資源化の推進、最終処分場の延命対策の推進、広域共同処理に向けた事業の推進

中間処理による再資源化の推進	資源ごみのリサイクル推進(資源物収集場所の増設)、生ごみ・下水道汚泥の堆肥化、外部処理委託の推進 公約	450,875 千円
広域組合による安定したごみ処理体制の構築	道央廃棄物処理組合での焼却処理(平成36年4月稼働予定)に向けた施設の建設	901,714 千円

【2】環境・エネルギー

○地球温暖化対策など環境にやさしいまちづくりの推進

循環型社会への貢献を目指す企業を支援	太陽光・バイオマスなどの再生可能エネルギーを導入する町内事業者への支援(導入費用の一部を助成)	8,000 千円
公共施設などの再生可能エネルギー導入の推進	住宅用太陽光発電設備の導入助成、木質バイオマス・小水力発電などの再生可能エネルギー活用に向けた調査検討 公約	6,300 千円

【3】防災

○自主防災組織の全町的な展開、災害情報伝達手段の多重化

自主防災組織設置による地域防災活動の推進	まちづくり協議会などによる自主防災組織の設置支援(助成制度創設)、防災マスター(地域リーダー)の養成など 公約	200 千円
災害時の電源・燃料確保の推進	主要避難所への非常用電源設備の整備、電源及び暖房機器などの燃料確保に向けた供給業者との災害時協定の締結など	60,000 千円
災害時の情報伝達手段の充実	デジタル移動系無線の整備、総合行政ネットワーク衛星無線回線の更新など	46,338 千円

【4】消防・救急

○消防車両や施設などの計画的な整備

消防車両などの計画的な更新	化学消防ポンプ自動車(救助資機材搭載型)の更新、職員防火衣の更新	155,622 千円
消防団施設の更新など充実・強化	小型動力ポンプ自動車の更新、各分団庁舎の改修・補修、団員防火衣の更新など	44,386 千円

【5】生活安全

○関係団体などと連携を図った各種対策の推進

【新】高齢運転免許証保有者の自主返納を支援	高齢運転者の免許証自主返納に対し、ハイヤー利用料金または町営バス回数券などを助成 公約	6,290 千円
地域の防犯・安全運動の推進	栗山地区防犯協会による地域安全運動、地域安全講習会、子ども 110 番の家事業の支援など	1,604 千円
消費生活啓発活動の支援や相談窓口の充実	消費者まつりや啓発事業などを行う栗山消費者協会の活動を支援(助成)、消費生活相談員による相談窓口の開設など	4,792 千円

Ⅱ. 教 育 / 人々が輝くふるさとづくり

【1】学校教育

○地域総ぐるみによる学校教育の推進、ICT環境の推進、各学校施設の計画的な維持・整備、介護福祉学校の学生確保、栗山高等学校の魅力づくりの推進

学校教育でのICT利活用の推進	常設型ICT環境の整備(タブレット端末の更新など)、デジタル教材の導入、利活用の支援など	48,954 千円
コミュニティスクール(学校運営協議会制度)の推進	学校運営協議会による、地域住民・関係者の声を学校経営に反映させた地域とともにある学校づくりの推進 公約	6,144 千円
【新】地域と連携した「キャリア教育」の推進	地域、企業、介護福祉学校などと連携した小・中学校、高等学校におけるキャリア教育の推進 公約	800 千円
小中学校施設の計画的な改修	栗山中学校体育館の非構造部材の耐震化、各学校施設の長寿命化を図るための個別施設計画の策定・計画に基づく整備	24,870 千円
高齢化社会を支える人材の創出(介護福祉士)	介護福祉士の養成、学生確保対策(介護人材確保ネットワーク構築)、地域と連携した福祉教育の推進など 公約	500,852 千円
【新】栗山高校の魅力づくりの推進	生徒確保(学校の魅力づくり)を目的とした各種支援策の実施 公約	12,000 千円
【新】栗山高校の未来像を話し合う町民委員会設置	栗山高校の今後のあり方(魅力ある学校づくりや生徒確保対策)など、町民委員会で検討 公約	一千円

【2】生涯教育

○青少年育成の充実、高齢者の学びの機会づくり、読書環境づくり、社会教育施設の計画的な維持・整備

青少年育成会活動の支援	栗山町青少年育成会事業の支援(子ども会リーダー研修、かるた大会、各地区・単位育成会の活動支援など)	3,504 千円
高齢者が喜びと生きがいを感じる学びの機会提供	高齢者大学「いきいきスクール」「いきいき塾」の実施、定年世代向け(概ね55歳以上)町民講座の開催など	1,292 千円
町民の読書活動の支援	学校図書室との連携を推進、子育てブックスタート事業の実施、栗山ふるさと文庫事業の実施など	198,895 千円
老朽化した社会教育施設の計画的な改修	合宿センター・武道場の解体、長寿命化を図るための個別施設計画の策定・計画に基づく整備	22,017 千円
地域総ぐるみで「ふるさと教育」を推進	地域教育協議会事業(ふるさと教育交流会など)の実施、学校支援活動の実施、普及啓発活動など 公約	1,304 千円

【3】自然環境教育

○里山環境の保全・再生運動の推進や中長期計画の策定、新たな担い手づくり

ハサンベツ地区の里山環境の保全・再生	里山環境の保全・整備、里山計画実行委員会など関係団体の活動支援、担い手発掘・育成支援、地区内の民有地購入の検討など	18,897 千円
人と自然との共生の推進	「(仮称)人と自然が共生するまちづくり宣言」の実施、記念事業の開催、自然教育中長期計画の策定、担い手・人材確保など 公約	3,228 千円
観察飼育舎とふれあいプラザの機能統合	ファープルの森観察飼育舎の跡地整備(網舎鉄骨除去、バタフライガーデン整備、行幸啓記念碑整備)など 公約	5,000 千円

【4】スポーツ

○社会教育施設の計画的な維持・整備

老朽化した社会体育施設の計画的な改修	スポーツセンターのトレーニングルーム機器・バスケットゴールの更新、栗夢広場のフェンス修繕、栗山水泳プールのプールサイド修繕など	71,933 千円
スキー場の今後のあり方の検討	スキー場の今後のあり方の検討と検討結果を踏まえた方針の決定	一千円

【5】芸術・文化

○文化活動の参加機会の充実、歴史的建造物など文化財の保存・活用

芸術文化に親しむことのできる環境づくりの推進	小学校の演劇鑑賞事業、美術展など芸術鑑賞事業、札幌ひなまつりコンサートなど音楽鑑賞事業、 <u>文化振興基金活用事業の実施</u> など 公約	26,660 千円
ふるさと栗山の文化財保護・活用の推進	文化財指定・文化財保護の啓発活動の推進、栗山町開拓記念館事業の推進、 <u>文化財保存継承補助制度の創設</u> など 公約	40,068 千円

【6】国際・地域間交流

○国際社会に対応できる青少年の育成、多様な分野での地域間交流の推進

少年ジェット派遣事業の実施	町内在住の中高生(8名程度)の海外派遣研修の実施(8泊程度で英語圏へ派遣予定)	14,292 千円
姉妹都市や被災地などとの青少年交流事業の実施	姉妹都市子ども交歓のつどい、姉妹都市青年交歓のつどい、 <u>英語コミュニケーションスキル研修(福島県川俣町との連携事業)の実施</u>	5,380 千円

Ⅲ. 医療・保健・福祉 / 健幸に暮らせるふるさとづくり

【1】保健

○受診率の向上対策の推進、健康づくりの意識・環境を高める対策の推進

がん早期発見・早期治療の推進	啓発活動・健康教育・講座等の実施(一次予防)、若年者等のがん検診受診勧奨強化・無料クーポン検診の実施など(二次予防)	44,740 千円
脳血管疾患・循環器疾患・糖尿病などの予防推進	啓発活動・健康教育・講座等の実施(一次予防)、特定健診と保健指導、若年者受診勧奨強化、脳検診対象拡大など(二次予防) 公約	74,123 千円
妊娠前から乳幼児期の健やかな発達・発育の支援	特定不妊治療助成、 妊産婦安心出産支援事業(妊産婦タクシー・交通費助成など) 、家庭訪問等の育児支援など 公約	34,356 千円
地域や団体の健康づくり活動の支援	健康づくり推進協議会の活動支援、健康寿命延伸のまちづくり宣言に基づく関連事業の実施	2,540 千円
健康で生きがいをもてる新都市モデルの調査研究	スマート・ウェルネス・シティ(健幸都市)首長研究会などへの参加、 スマート・ウェルネス整備事業(新町地区に健康器具を設置) 公約	2,000 千円

【2】地域医療

○医療供給体制・救急医療体制の維持・確保

地域に必要な医療水準の維持	赤十字病院の医師確保への助成(循環器科・泌尿器科・耳鼻科・皮膚科等)、 地域医療環境整備基本構想・計画の策定 など 公約	136,728 千円
初期救急医療の確保と二次救急病院への支援	赤十字病院による夜間・休日救急医療への助成、看護師等による24時間電話救急医療相談窓口(札幌市事業)の利用 公約	267,940 千円

【3】児童福祉

○就労形態など家庭の状況に応じた子育て支援、地域社会全体での子育て推進

子ども医療費の助成	高校3年生までの医療費を助成(町外医療機関での受診は入院のみ、ただし未就学児は町外通院も助成対象) 公約	120,920 千円
子育て家庭の支援や子育てしやすい環境の充実	子育てサロン・相談事業、子育てサポート事業、乳幼児育児用品の購入助成、 育児応援企業への奨励金制度の創設 など 公約	52,325 千円
民間保育園等との連携による保育・教育の質の向上	一時・延長保育、休日預かり事業、新制度による利用者負担額を勘案した保育料の軽減、 病児・病後児保育事業の調査検討 など 公約	44,532 千円
心身に障がいや発達の遅れのある子どもの支援	特定相談支援・障がい児相談支援の実施、個別指導・小集団指導による子ども発達支援、理学療法士による運動指導の実施など	6,716 千円

【4】高齢者福祉

○介護予防事業への参加者拡大、関係機関などの連携による高齢者支援サービス事業の展開

介護予防事業の推進	一次予防事業(生活機能維持・向上)、二次予防事業(生活機能の改善)、介護予防・日常生活総合事業の実施	39,660 千円
生活支援を中心とした地域包括ケアの充実	医療と介護の連携を含めた地域包括ケアシステムの構築、高齢者の地域・在宅生活支援の充実など	231,343 千円

【5】地域福祉

○元気な高齢者の活躍の場づくり、地域の支え合い体制づくり、家庭介護を支える介護者支援

高齢者の社会参加と活動の場づくりの推進	ケアラーズカフェによる高齢者居場所づくりの推進、熟年人材センターなど高齢者の社会参加推進、 <u>シルバー人材センター設立推進</u> など <small>公約</small>	7,000 千円
地域の見守り・支え合い活動の充実	地域見守り・支え合い体制づくりの推進、ケアラー支援(<u>支援条例の制定</u> など)・命のバトン・在宅サポーターなど要介護者支援の実施など <small>公約</small>	54,608 千円

【6】障がい者福祉

○対象者のニーズに沿ったサービスの展開、社会参加に向けた取り組みの充実

社会参画と自立支援に取り組む団体などの支援	地域自立支援協議会などの活動支援、 <u>ふるさと福祉基金事業による障がい者団体等の活動支援</u> <small>公約</small>	8,360 千円
【新】 障がい者への専門的な相談支援体制の充実	<u>広域基幹相談支援センター(広域拠点)の設置による相談支援機能の強化、福祉サービス・相談支援従事者向け研修</u> など	15,340 千円

IV. 産 業 / 賑わいと活力あるふるさとづくり

【1】 農林業

○担い手育成や新規参入者の受入推進、担い手への農地集積促進、生産性向上に向けた農地整備
6次産業化の推進、計画的な森林整備

農業後継者の育成	栗山町農業教育振興会(農業研修)への助成、農業振興公社による後継者育成事業(青年農業賞、未来塾・女性塾等)など 公約	13,236 千円
新規就農者の受入推進	経営開始直後の青年農業者の支援、農業振興公社による新規就農支援事業(相談・研修・助成事業等)、地域おこし協力隊事業など 公約	116,000 千円
栗山の特性を生かした良質な農産物生産の推進	安全安心・良質な生産活動支援、環境保全に向けた営農活動支援、農業用機械・施設整備支援、ICT技術導入推進・利活用検証など 公約	180,000 千円
農地の円滑な流動化と優良農地の確保	農業振興公社による農地流動化の推進、農地利用集積の円滑化、規模拡大支援、農地の中間保有など 公約	4,000 千円
道営事業による計画的な基盤整備と施設維持	道営農業農村整備事業(南角田、継立、 <u>円山</u> 、 <u>富士</u> 、 <u>御園</u> 地区) 公約	129,270 千円
農業・農村の持つ多面的機能の維持・向上	地域が取り組む農地の維持・保全、植栽による景観形成、水路・農道・ため池などの補修・長寿命化などの活動を支援	723,632 千円
中山間地域等の農業生産・多面的機能確保の支援	中山間地域等直接支払事業(対象農地への交付金)	614,416 千円
6次産業化の取組支援	農業者等が行う農産物加工、直売、農村レストランなどの新たな取り組みに対する支援、 <u>観光農業の調査研究</u> 公約	16,000 千円
造林事業などによる適正な森林管理の推進	町有林の保育管理(造林・下刈・間伐など)、民有林の整備支援、林道の整備・充実など	129,533 千円

【2】 商工業

○商店街の空き地・空き店舗対策の推進、関係機関と連携した企業誘致活動、起業・創業支援

賑わいにあふれ魅力ある商店街づくりの推進	栗夢プラザ運営支援、 <u>空き地・空き店舗活用支援</u> 、 <u>後継者・リーダーの育成</u> 、 <u>商店街実態調査</u> 、 <u>商店街活性化計画(仮称)策定</u> など 公約	43,088 千円
積極的な企業誘致活動の展開	<u>トップセールスによる誘致活動</u> 、 <u>PR ビデオ作製</u> 、 <u>ビジネスセミナー開催</u> 、 <u>新規進出企業に対する用地購入費・水道料などの優遇措置</u> 公約	8,200 千円
町内商工業者の経営安定・改善などの支援	店舗等の新設・増設などの支援、一定基準を満たす商工業者への融資制度(中小企業振興資金)、経営指導員による相談など	502,922 千円
ものづくりDIY工房導入・活用の推進	<u>DIY工房の導入・運用</u> 、 <u>ものづくりに関する人材育成(地域産業の担い手)等の事業委託</u> など 公約	76,941 千円
【新】新規創業者の起業支援	<u>新規起業・創業を促進するための新たな支援制度の構築</u> 公約	一千円
【新】就業体験を受入れる町内企業支援制度創設	<u>地元就職を目的に就業体験を受け入れる町内企業および宿泊費や交通費に対する支援制度の構築</u> 公約	一千円

【3】観光・交流産業

○観光推進組織体制の整備、基幹産業を生かした観光資源の開発、移住促進体制の整備

新たな推進体制構築など観光事業の充実	関係機関などとの連携による観光推進組織の設置、観光振興計画の策定と事業展開、観光農業の調査研究など 公約	53,650 千円
栗の活用による新たな特産品や観光資源の創出	北のくりやま栗づくり協議会の活動支援(産地化、6次産業化など) 公約	8,000 千円
東アジア市場への特産品販路拡大の支援	海外販路開拓のための展示会・商談会出展に係る経費(輸送・渡航・通訳・広告宣伝費など)の一部助成 公約	4,800 千円
移住・定住の促進	移住促進協議会の活動支援、 移住相談専門窓口の充実 、くりやまちょうPR隊(地域おこし協力隊)事業、 Uターン促進奨学金返済支援 など 公約	54,000 千円
くりやま若者シティプロモーション事業の展開	まちの魅力発信や栗山ファンづくりを行う担い手育成、起業を目指す担い手の育成、クリエイターズマーケットなどクリエイターの活躍促進など	42,429 千円

【4】雇用環境

○労働者の労働環境の向上

勤労者福祉の向上と季節労働者 通年雇用化の推進	勤労者福祉センターの管理運営、南空知通年雇用促進協議会による季節労働者の通年雇用促進支援・資格取得支援など	22,511 千円
労働者の労働環境の向上	町内事業所と労働者に対するアンケートの実施 (雇用状態・賃金・福利厚生など)	4,040 千円

V. 都市基盤 / 快適でやすらぐふるさとづくり

【1】道路・交通

○計画的な道路整備、冬期間の交通確保、町営バスの効率的な運行体系、地域間交通網の維持

計画的な道路網の整備	幹線町道杵臼本線の改良・舗装、道路ストック修繕計画に基づく修繕、町道補修や側溝改修、老朽化した橋梁の点検・補修など	796,383 千円
冬期間における道路環境の維持・確保	効率的かつ効果的な除排雪の実施、除雪用重機の計画的な更新(グレーダー、ロータリー) 公約	551,200 千円
地域間(都市間)交通の確保と利便性の向上	民間バス路線確保維持に係る補助、都市間交通アクセス向上に向けた調査研究、 <u>JR室蘭線の路線維持と利用促進の取組推進</u> など 公約	15,872 千円
町営バスの充実による交通弱者の移動手段確保	町営バス・コミュニティバスの運行、 <u>利用者ニーズの把握と運行路線等の見直し</u> 、計画的な車両の更新 公約	332,967 千円
【新】 持続可能な地域公共交通システムの構築	<u>まちづくりと連携した地域公共交通ネットワークを構築するためのマスタープランとなる、地域公共交通網形成計画の策定</u> 公約	6,800 千円

【2】住宅・住環境

○公営住宅の計画的な建替え、住宅助成制度の継続、空き家対策と空き地の利活用

公営住宅の整備・改修	老朽化した公営住宅の建替(曙団地、中央団地、継立団地の設計)、地域材の積極的な活用、 <u>公営住宅長寿命化計画の見直し</u> など	1,267,900 千円
若者・子育て世代が移住しやすい環境の整備	子育て世代移住者の住宅取得・中古住宅リフォーム、民間賃貸住宅家賃助成、 <u>移住環境の検討・整備、空き家利活用促進支援制度の構築</u> 公約	36,400 千円

【3】上・下水道

○上・下水道の老朽設備・機器の計画的な更新、汚水処理費用の負担統一化の推進

老朽化した水道管・水道施設設備の計画的な更新	布設後30年以上が経過した老朽度の高い塩ビ管の更新、桜山浄水場・各ポンプ場の機器・計装設備の更新	400,000 千円
老朽化した下水道施設の計画的な更新	更新時期を迎えた機器の計画的な更新	893,100 千円
個別排水処理施設整備の推進	町の管理による合併処理浄化槽の設置・維持の推進	192,868 千円

【4】河川

○河川環境の適切な維持・管理、川を生かしたまちづくりの推進

河川環境の改善・水害防止と自然河川づくりの推進	河川の土砂撤去・倒木除去、円山地区排水路の改修、国や道管理河川の適正な維持管理要望	44,000 千円
【新】 雨煙別川流域河川整備の推進	<u>雨煙別川の親水護岸・管理用通路の整備、多目的広場用地購入、屋外トイレ整備、産卵床整備</u> など 公約	58,300 千円

【5】街なみ・景観

○都市再生整備計画事業の推進、歴史的建造物や景観を生かしたまちづくり、各地域の特性を生かした地域振興策の展開

新町地区の再開発整備事業の推進	新町通街路整備事業(道事業)の実施、街なみ整備(道路・小公園整備など)、仮称 MARON プラザ改修整備、スマートウェルネス整備など 公約	1,044,200 千円
馬追橋早期架換要望と錦地区の街なみづくり検討	馬追橋早期架換え(道事業)の継続要望、 小林酒造レンガ倉庫周辺の遊歩道や幹線道路の整備、錦地区周辺の街なみ整備の検討 など 公約	9,000 千円
南部地域振興策の検討	継立中学校の跡地活用検討、 継立南学田線・清見橋架換の整備 、広域道路網の整備要望、 継立団地の建替調査、日出生活館の改築 など 公約	3,000 千円
国道234号線整備要望と角田地域振興策の検討	国道整備(拡幅・バイパス化)の継続要望、 国道整備に合わせた町道整備の検討、住宅団地造成の検討、角田地区の商業施設誘致 など 公約	一千円
栗山市街地及び北部地区の整備検討	南大通り延伸に向けた継続要望、字名改正と5丁目構想の検討、 御大師山や湯地・鳩山地区などの一体的な景観・観光振興構想策定 など 公約	一千円
御大師山周辺の散策路・施設等の計画的改修・整備	散策路修繕・順路看板設置、展望デッキ整備、御大師山周辺案内看板の設置など 公約	14,500 千円
御大師山周辺のガイドブック作成	周辺ガイドブックの作成 公約	2,110 千円

VI. 地域経営 / みんなが主役のふるさとづくり

【1】コミュニティ活動

○地域組織など町民主体のまちづくりの推進、NPOの活動支援

まちづくり協議会などの地域活動支援	まちづくり協議会活動の支援(地域づくり事業交付金、地域支援職員の配置など)、 町内会・自治会の区域再編に対する支援制度の創設 公約	13,364 千円
地域活性化・賑わい創出活動の支援	NPO・ボランティア団体などが連携・協力する提案事業(新たな活性化事業)を支援 公約	5,100 千円

【2】行政経営

○効果的な行財政運営の推進、広域連携の推進

健全な財政運営の推進	中長期財政計画に基づく財政運営、効果的な予算編成手法の検討・導入、財政健全化指針の策定など 公約	一千円
町税収入等の収納率向上	滞納管理システムによる対策強化、コンビニエンスストアにおける町税等の納付推進、クレジット収納等の調査検討など	5,112 千円
公共施設等総合管理計画による老朽化対策の推進	公共施設などの維持管理・安全確保・修繕・更新・統廃合などに関わる中長期的な実施方針(総合管理計画)の運用	一千円
時代に対応できる行政職員の育成	国・道などへの職員派遣、職員提案型の自己啓発研修、各関係機関による研修プログラムへの参加、職階ごとの研修会開催など	14,800 千円
情報システム活用による事務効率化とサービス向上	行政情報システムの適正な維持・管理・更新、社会保障・番号制度の導入・推進、電子自治体の推進など	144,294 千円
地域振興策や事務共同処理の広域連携の推進	南空知ふるさと市町村圏組合、南空知4町広域連携検討会議、学生地域定着推進広域連携協議会などへの参画	5,500 千円

【3】情報共有と町民参加

○政策をはじめとしたまちの情報の充実・共有、町民参加推進のための多様な仕組み・機会づくり

自治基本条例に基づいた情報提供の仕組み充実	各種計画・条例策定プロセスの公表、審議会等の情報公開、出前型政策説明(懇談)制度の運用など 公約	一千円
コミュニティ放送による情報共有手段の充実	運営組織の設立、放送局施設整備、防災ラジオの購入・配布 公約	27,000 千円
町長のまちづくり懇談会やふれあい訪問の実施	町内会・自治会長や各地域、各種団体などを対象とした 懇談会の開催(充実)、職場などへのふれあい訪問の実施 公約	272 千円
自治基本条例に基づいた町民参加機会の充実	町政の重要課題に対する町民参加機会の充実、審議会等の委員公募の推進、子どものまちづくり参加(体験)の推進など 公約	一千円

7. 町財政の中長期試算（財政状況の今後の推移）

第6次総合計画「後期実施計画」の策定段階で、今後の歳入・歳出の増減要素を勘案し、町財政の中長期試算を行いました。後期実施計画で掲載している施策・事業の実施を前提に、その財源を反映した場合の推移は下記のとおりです。

【1】 財政推計

（単位：百万円）

		H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
歳出	人件費	1,246	1,260	1,227	1,246	1,188	1,191	1,184	1,177
	公債費	1,226	1,233	1,126	1,152	1,166	1,120	1,162	1,210
	投資的経費	989	1,006	1,020	841	847	821	821	821
	義務的経費	1,445	1,492	1,471	1,477	1,437	1,390	1,399	1,403
	一般施策	3,497	3,376	3,502	3,839	3,832	3,207	3,166	3,073
	計	8,403	8,367	8,346	8,555	8,470	7,729	7,732	7,684
歳入	町税	1,292	1,298	1,290	1,303	1,310	1,305	1,320	1,325
	地方交付税	3,139	3,068	3,009	3,023	2,993	2,955	2,946	2,862
	町債	1,040	953	1,142	1,319	1,469	827	813	806
	その他	2,796	2,875	2,882	2,831	2,662	2,637	2,648	2,616
	繰入金	186	223	73	129	86	55	55	125
	計	8,453	8,417	8,396	8,605	8,520	7,779	7,782	7,734
収支差引	50	50	50	50	50	50	50	50	

【2】 基金残高推計

（単位：百万円）

	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38
財政調整基金	478	347	332	261	230	251	283	213
減債基金	29	0	0	0	0	0	0	0
その他基金	295	315	322	314	309	305	301	296
備荒資金組合	55	35	15	0	0	0	0	0
計	857	697	669	575	539	556	584	509